

留意事項

問題1

- ① 試験は着席した状態で行うこと。

問3

- ① 抵抗測定は、アナログ式サーキット・テスタを使用し、チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と、回路図内の番号は、同じです。
- ③ 測定端子での点検は、抵抗の測定のみで行い、電圧の測定は行わないこと。
- ④ **《VVTのOCVの基準抵抗値》**

測定端子4～5間で測定：5.0Ω～9.0Ω

問5

- ① ダイアグノーシス・コードを消去後、**アクティブテストを実行する場合も**試験委員に申し出ること。
- ② 「VVT 制御」のアクティブテストを実行する画面には**177**のモニタ項目が表示されている。

[OCV 駆動 Duty 比バンク 1]は、上から 115 番目以降に表示される。

[VVT 変位角バンク 1] は、上から 116 番目以降に表示される。

《VVT 制御のアクティブテストの実行内容、基準値及びエンジンの症状》

VVT 制御 の設定値	OCV の 状態	OCV 駆動 Duty 比 バンク 1 (上から 115 番目以降)	VVT 変位角 バンク 1 (上から 116 番目以降)	症状
ON	最進角	100.0%	30.0～ 70.0° FR	アイドル 不調
OFF	最遅角	0.0%	0.0～ 10.0° FR	ほとんど 変化なし

留意事項

問題2

- ① 問題2に移る場合は試験委員に申し出ること。
- ② 「READY」の状態とは、ハイブリッド・システムが起動している状態で、補機バッテリー電圧が14V程度となります。
- ③ この車両は、試験中にエンジンが始動する場合があります。
- ④ パワー・ウインドウのスイッチの操作は自分で行うこと。

問2

- ① 電圧測定は、デジタル式サーキット・テスタを使用し、チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と、回路図内の番号は、同じです。
- ③ 測定端子での点検は、**電圧の測定のみで行い、抵抗の測定は行わないこと。**
- ④ **《正常時のLIN通信線の電圧値》**
 - ・LIN通信線の電圧波形を、デジタル式サーキット・テスタを用いて測定したときの電圧値
 - ・各測定端子とボデー・アース（測定端子60）間で測定

	測定端子番号	スイッチの位置	測定値	スイッチの位置	測定値
測定電圧	31	UP	7.0~10.0V	AUTO UP	7.0~10.0V
		DOWN	7.0~10.0V	AUTO DOWN	7.0~10.0V
	32	UP	7.0~10.0V	AUTO UP	7.0~10.0V
		DOWN	7.0~10.0V	AUTO DOWN	7.0~10.0V

留意事項

問題3

- ① 試験は着席した状態で行うこと。
- ② ドア・ミラーの左右切り替えスイッチは、R側にしてあるので触らないこと。
- ③ 格納機能は停止させています。

問1

- ① ドア・ミラー調節スイッチと鏡面が傾く方向（正常時）



問2

- ① 電圧測定は、チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と、回路図内の番号は、同じです。
- ③ 測定端子での点検は、電圧の測定のみで行い、抵抗の測定は行わないこと。

留意事項

問題4

① 試験は着席した状態で行うこと。

問1, 2

① オシロスコープは設定済み「V/DIVは2V, TIME/DIVは1ms, プローブは×1」です。変更は行わないこと。

② 《車輪速センサの基準電圧波形》

- ・ 車速：50km/h 一定時
- ・ 各測定端子とボデー・アース（測定端子 60）間で測定

系 統	測定端子番号	オシロスコープで計測した基準電圧波形
前右	31, 39	
前左	33, 41	
後右	35, 43	
後左	37, 45	
前右	32, 40	
前左	34, 42	
後右	36, 44	
後左	38, 46	

留意事項

問題4

問3 参考

《増圧時の保持ソレノイド・バルブと減圧ソレノイド・バルブの状態》

